

米国株式LSファンド (SMA専用)

追加型投信／海外／株式／特殊型(絶対収益追求型)

交付償還報告書

第8期(償還日 2024年12月16日)
(作成対象期間 2024年7月11日～2024年12月16日)

償還日

償還価額	11,697円42銭
純資産総額	72百万円
騰落率	△4.6%
分配金合計	0円

(注1) 以下本書において、基準(償還)価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当償還報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

SMTAM投信関連情報サービス



お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断をお願いします。

※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当ファンドは、主としてUBS AG ロンドン支店が組成を取りまとめた海外籍特別目的会社(SPC)の発行する米ドル建債券に投資し、米国の金融商品取引所等に上場している株式等の買建(ロングポジション)と売建(ショートポジション)を組み合わせたマーケット・ニュートラル戦略による運用を行うとともに、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指して運用を行ってまいりましたが、このたび、投資信託約款の規定に基づき、繰上償還いたしました。ここに運用状況と償還内容についてご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

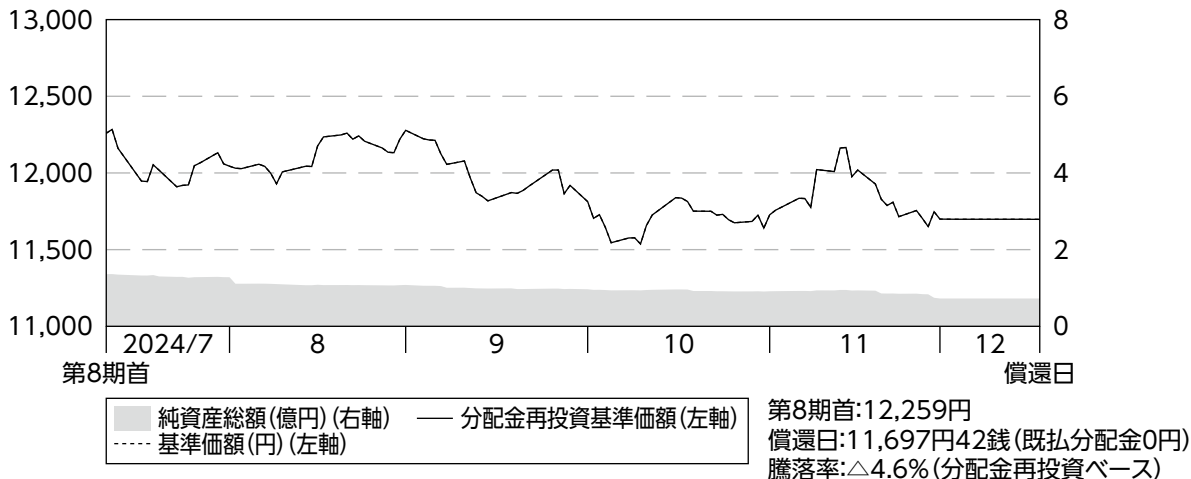
〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記ホームページにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用(償還)報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2024年7月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づき銘柄選択を行いました。当期の基準価額は2024年9月のパフォーマンス不芳などから下落しました。

運用経過の説明

3 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2024年7月11日~2024年12月16日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	19円	0.163%	(a) 信託報酬＝[期中の平均基準価額]×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,912円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(10)	(0.086)	
(販売会社)	(7)	(0.062)	
(受託会社)	(2)	(0.014)	
(b) 売買委託手数料	—	—	
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	1	0.012	(d) その他費用＝ $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(1)	(0.009)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(—)	(—)	
合計	20	0.175	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

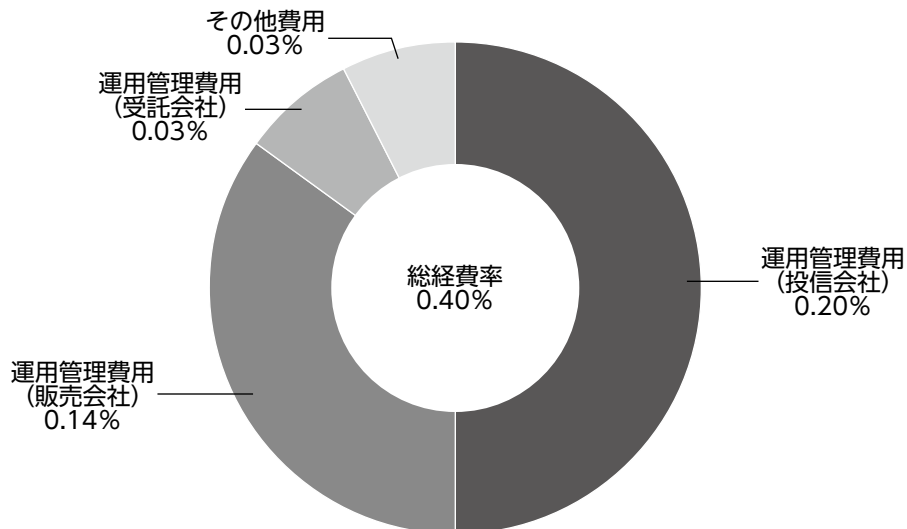
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.40%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

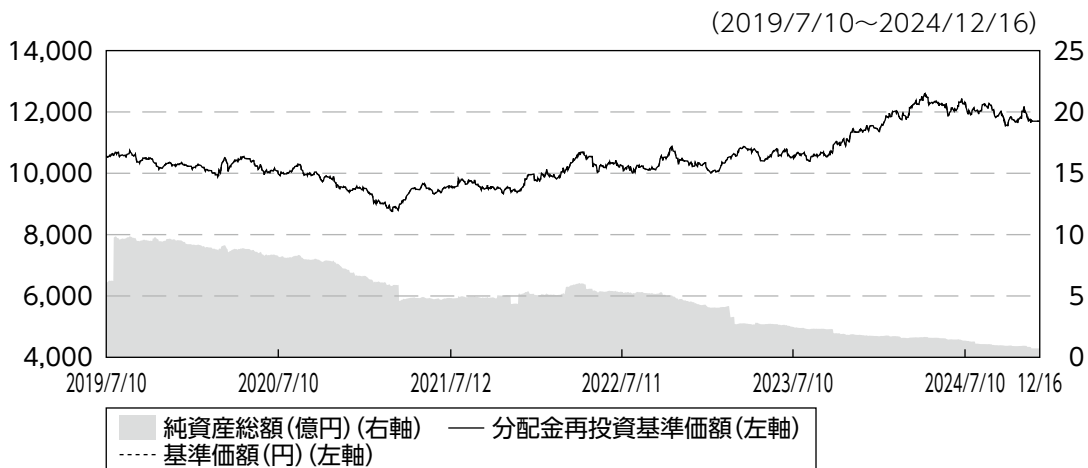
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 実質的に投資対象とする米ドル建債券の価格に反映される費用等は含まれておりません。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

運用経過の説明

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもとして計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2019年7月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2019年7月10日 決算日	2020年7月10日 決算日	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日	2023年7月10日 決算日	2024年7月10日 決算日	2024年12月16日 償還日
基準(償還)価額 (円)	10,568	9,987	9,554	10,244	10,559	12,259	11,697.42
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△5.5	△4.3	7.2	3.1	16.1	△4.6
純資産総額 (百万円)	612	822	482	533	247	135	72

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

運用経過の説明

5 投資環境

当期の米国株式市場は上昇しました。

期初は、対中輸出規制の強化を検討との報道により半導体関連株への売りが広がったことや、軟調な雇用統計を受けた米国の景気後退懸念が広がったことなどから下落して始まりました。その後、FRB(米連邦準備理事会)が0.5%の大幅利下げを決定し、景気下支えを優先する姿勢を示したことで米国経済の軟着陸期待が高まったことなどから上昇に転じました。期末にかけては、トランプ次期政権による大規模減税継続や規制緩和への期待が高まり米国株式市場は堅調に推移しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

「米国株式LSマザーファンド」受益証券を高位に組み入れる運用を行いました。なお、当ファンドの繰上償還に向けて、2024年11月末より「米国株式LSマザーファンド」を全て売却しました。

【「米国株式LSマザーファンド」の運用経過】

米ドル建債券の組入比率を高位に保つとともに、対円での為替ヘッジ(米ドル売り/円買い)を行い、米ドル/円の為替変動に伴うリスクの低減を図りました。米ドル建債券においては、Two Sigmaグループの運用会社が計量モデルを活用し、米国の金融商品取引所等に上場している株式等を対象にしたマーケット・ニュートラル戦略による運用を行い、期を通じてロング・エクスポージャー、ショート・エクスポージャーともに米ドル建債券の時価総額比で120%程度から150%程度を維持しました。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定していません。

8 分配金

該当事項はありません。

設定以来の運用経過

当ファンドの運用につきましては、「米国株式LSマザーファンド」受益証券を高位に組み入れる運用を行いました。「米国株式LSマザーファンド」においては、米ドル建債券の組入比率を高位に保つとともに、対円での為替ヘッジ（米ドル売り/円買い）を行い、米ドル/円の為替変動に伴うリスクの低減を図りました。米ドル建債券においては、Two Sigmaグループの運用会社が計量モデルを活用し、米国の金融商品取引所等に上場している株式等を対象にしたマーケット・ニュートラル戦略による運用を行いました。

なお、当ファンドの繰上償還に向けて、2024年11月末より「米国株式LSマザーファンド」受益証券を全て売却しました。

【基準価額の主な変動要因】

<第1期>

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づく銘柄選択やトレード等が期初比で軟調となったことが、基準価額の下落要因となりました。また、米ドル売り/円買いの為替ヘッジに伴うヘッジコストもマイナスに影響しました。

<第2期>

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づく銘柄選択やトレード等が期初比で好調となったことが、基準価額の上昇要因となりました。一方、米ドル売り/円買いの為替ヘッジに伴うヘッジコストはマイナスに影響しました。

<第3期>

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づく銘柄選択やトレード等が軟調となったことが、基準価額の下落要因となりました。また、米ドル売り/円買いの為替ヘッジに伴うヘッジコストもマイナスに影響しました。

<第4期>

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づき銘柄選択を行いました。クオリティを重視したポートフォリオであったことや市場構造の変化から2021年1月には大きくマイナスとなったことなどが、基準価額の下落要因となりました。また、米ドル売り/円買いの為替ヘッジに伴うヘッジコストもマイナスに影響しました。

設定以来の運用経過

<第5期>

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づき銘柄選択を行いました。期初はもみ合いで推移しましたが、2021年12月以降は銘柄選択やトレード等が奏功し始め、2022年1月から2月の市場混乱期は下振れを抑制しつつ、3月以降再び市場の落ち着きと共に着実にパフォーマンスを積み上げたことから、基準価額は上昇しました。

<第6期>

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づき銘柄選択を行いました。当期の基準価額は上昇しました。特に、2022年9月や10月、2023年2月や3月に大きくプラスのリターンを計上しました。

<第7期>

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づき銘柄選択を行いました。当期の基準価額は上昇しました。2023年の9月から2024年の4月にかけて堅調に推移しました。

<第8期>

主要投資対象である米ドル建債券において、Two Sigmaグループの運用会社が活用する計量モデルに基づき銘柄選択を行いました。当期の基準価額は2024年9月のパフォーマンス不芳などから下落しました。

お知らせ

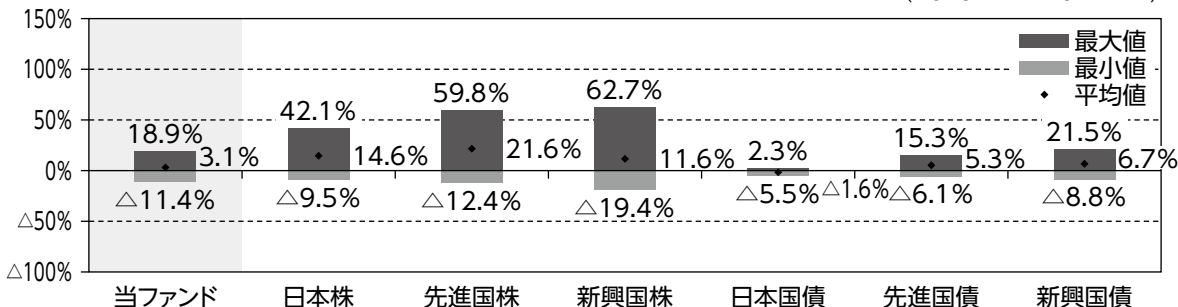
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型(絶対収益追求型)	
信託期間	信託期間は2017年10月16日から2024年12月16日(繰上償還決定前は2025年7月10日)までです。	
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	米国株式LSファンド(SMA専用)	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	米国株式LSマザーファンド	UBS AG ロンドン支店が組成を取りまとめた海外籍特別目的会社(SPC)の発行する米ドル建債券を主要投資対象とします。
運用方法	米国株式LSマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてUBS AG ロンドン支店が組成を取りまとめた海外籍特別目的会社(SPC)の発行する米ドル建債券(以下「米ドル建債券」といいます。)に投資し、米国の金融商品取引所等に上場している株式等の買建(ロングポジション)と売建(ショートポジション)を組み合わせたマーケット・ニュートラル戦略による運用*を行います。 ※ 米ドル建債券への投資額のうち、マーケット・ニュートラル戦略による運用に用いられない余剰資金は、原則として米ドル建MMFもしくはそれに類するもの又は米ドル建公社債、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券もしくは短期金融商品等により運用されます。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。	
分配方針	原則として、毎年7月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益の分配を行います。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019/12~2024/11)



(注1) 2019年12月~2024年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・ TOPIX(東証株価指数) (配当込み)*1

先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)*2

新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)*3

日本国債・・・ NOMURA-BPI国債*4

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)*5

新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)*6

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

*2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*4 NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスに計算されます。同指数の知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

*5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

*6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

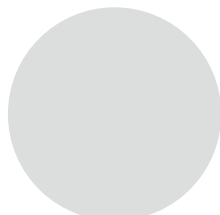
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

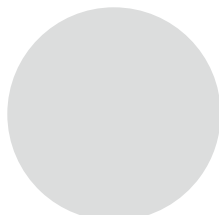
償還時における該当事項はありません。

○資産別配分



短期金融資産等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



円
100.0%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

2 純資産等

項目	償還日
	2024年12月16日
純資産総額	72,552,833円
受益権総口数	62,024,664口
1万口当たり償還価額	11,697円42銭

※当期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は48,861,629円です。